

# 特色ある読書推進活動の紹介



令和8年3月9日発行 福島県教育庁県北教育事務所

## 県北地区の「読書ボランティア」紹介！

今回紹介するのは、福島市西部を中心に活動する「西地区子どもと本をつなぐたんぽぽの会」さんです。昭和63年5月21日に「たんぽぽ文庫」として誕生し、その後、平成12年より「西地区子どもと本をつなぐたんぽぽの会」に名称を変更されました。

現在は、地域の小学校3校において、おはなし会を開催しています。また、地域の子育てサークル等と深く関わり、季節の行事等でおはなし会や学習会を行っています。

### 「西地区子どもと本をつなぐたんぽぽの会」のねがい

- \* 本の好きな子どもたちをいっぱいになりたい。
- \* 自然の営みに子どもたちと素直に感動し、地域の自然を大切にしながら、自然科学に目を向けていきたい。
- \* 絵本、物語、民話の世界を子どもたちと共有したい。
- \* 地域との関わりを大切に、子どもたちに伝承文化を伝えていきたい。
- \* 研修を深め、常に目的と本質を確認し合い、豊かな表現力、豊かな人間性をめざしたい。



2月19日に福島市西学習センターの「ぽかぽか Club」で3歳程度までの幼児に読み聞かせと手遊びを行いました。



拡大絵本「あなたがとってもかわいいの」

絵本「だいどころに春がきた」



ぬいぐるみを使った十二支のお話

### 保護者の声



いろいろな子どもたちが好きそうな絵本を読んでもらえるのがいいです。また、親以外の人を読み方が勉強になります。家にはない大きな絵本やしかけ絵本等、知らない本に触れられるのも良い経験です。

たんぽぽの会30周年記念文集に「親子の声を聞く、子どもたちの声を聞く、絵本の声を聞く、自然の声を聞く、地域の声を聞く」という言葉があります。活動は間もなく40周年になりますが、これからも、子どもたち、地域のために活動を続けていきます。